

この度、
CPhI Japan 2021
会期中に
出展社プレゼンテーションを
行いますので、
是非ご来場賜りますよう
お願い申し上げます。



【出展社プレゼンテーション】

各プレゼンテーションにて、最初の5分程度、弊社の谷元より
パセオンの最新情報(サービス内容・施設のアップデート等)を
お話しいたします。

谷元 浩二 (アジアパシフィック事業開発 シニアディレクター)

4/15(木) 11:00-11:30

A1会場(西1&2ホール)

4/16(金) 13:00-13:30

題名: 原薬の溶解性・バイオアベイラビリティ改善戦略: 最適な技術および賦形剤の選択

【アブストラクト】 Quadrant 2[®]は難溶解性改善のためのコンピュータモデリングの手法を用いたIn Silicoプラットフォームで、処方予測を行い初期処方開発を支援します。ターゲットのプロダクトプロファイル(TPP)を踏まえ、原薬の分子構造・化学的特性を解析するQuadrant 2[®]は、量子力学や分子動力学、定量的構造活性相関(QSAR)、吸収・分布・代謝・排泄・毒性(ADMET)、統計解析、弊社で開発したモデルなど様々な計算方法を駆使した独自アルゴリズムから構成されています。原薬の個別データを基に、高い成功率を誇る、最適な溶解性改善技術と賦形剤の組み合わせを予測します。

講演者: Sanjay Konagurthu, PhD, Senior Director, PDS Global Science and Technology



創薬ステージから治験薬製造・商業生産まで化合物開発に20年間従事。専門は溶解性改善、放出制御など薬物送達技術の処方及びプロセス開発であり、幅広い治療領域にわたっている。様々な新規化合物(NCE)に取り組むとともに、市販後のライフサイクルマネジメントにも携わる。出願中特許を含め8件の特許を保有しており、20稿以上の論文やポスター、オンラインセミナーを執筆又は共同執筆。マドラスにあるインド工科大学(IIT)で化学工学の学士号、ボールダーのコロラド大学で同博士号を取得。

4/15(木) 11:45-12:15

A1会場(西1&2ホール)

4/16(金) 14:30-15:00

題名: 注射剤のプレフィルドシリンジ製剤へ切替えにおける課題と実践的ソリューション

【アブストラクト】 開発・治験段階をバイアルなどの他の剤形で行った後、プレフィルドシリンジとして上市するケースは少なくありませんが、このような切り替えは慎重かつ戦略的に行わねばなりません。新剤形への資源投入が必要となるだけでなく、患者さん及びステークホルダーに大きなメリットがあるからです。今回のオンラインセミナーでは、プレフィルドシリンジへの切り替えにおけるキーポイント、製剤開発時に剤形を変更することの利点とリスク、実験計画法による課題・リスクへの対処方法について解説いたします。

講演者: Vincenza Pironti, PhD, Global SME, Sterile Drug Products



サーモフィッシャーの無菌製剤製造部門において、グローバルの事業開発チームを支援し、技術的サポート、戦略策定、新規事業開発に従事。製薬業界に15年以上携わり、事業開発、製品開発、無菌製剤の製造・充填において総合的な経験を積み、処方スクリーニングから無菌製剤の商業生産まで製品開発のあらゆる段階をカバーする幅広い知識を備え、低分子薬・バイオ医薬品の無菌製剤に関する様々なノウハウを蓄積している。サーモフィッシャー入社前は、Pharmatex及びCordenPharmaで事業開発マネージャーとして無菌製剤領域の複数のプロジェクトを統括した経験を持つ。

ご質問がございましたら下記までお問い合わせください。

パセオン株式会社 (担当 川田)

Tel 03-6202-7666 Mail PharmaServicesAPAC@thermofisher.com

patheon

弊社ブース A-30